2019 TAJIMI JC
Just do it.
行動を興せばすべてが変わる！
今こそ踏み出せ希望溢れるまちを目指して!!

4
April2019

JCNEWS
一般社団法人多治見青年会議所２０１９年度

～生き抜く力育成事業Ⅰ（陶器まつりへの参加）のご紹介～

Q. 何故今回の事業を行おうと思ったのですか？

最近の子どもたちと接していると、答えが決まっている問題ではなく、感想を言う場面であっても前の子と同じ発言をする子、自由に行動する場面でも「こうしていい？」と聞く子どもが目立ちます。子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくためには、自身で問題解決する力が必要です。自分で考え、やり遂げることを学んでほしいとの思いで、この事業を行おうと思いました。

Q. 事業の内容はどのようなものでしょうか？

「きもちつたえる　カードづくり」「ちいさいけれどむげんのくうかん　ガチャのにわづくり」「わたしだけのすいぞくかん　スノードームづくり」の３つの工作ブースを企画しました。
豊富な材料と、作品にじっくり向き合える時間を用意します。十分に工夫ができる工作をとおして、体験自由な発想で創造し、ひとつの作品を作り上げることを経験し、子どもたちの考える力とやり遂げる力を育みます。

Q. メンバーに気をつけていただきたいことはありますか？

この事業の中では子どもたちの発想はすべてが正解です。「間違っていたらどうしよう」「どうしたらいいか教えて」とすぐ大人に頼りがちで自分の考えに自信のない子どもたちであっても、子どもたちの力を信じて手助けは最小限に控えてください。子どもたちの「こうしてみよう」「こうしたらどうかな」という発想は「面白いアイディアだね」と、どんどん背中を押してあげてください。

生き抜く力育成委員会　委員長　鈴木亜紀子君

会員意識高揚事業を終えて

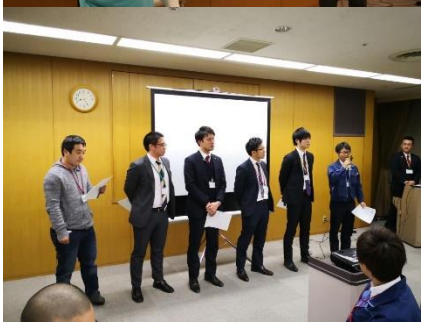
３月６日（水）産業文化センターにてＯＢであります上田博和氏を講師としてお招きし「ＪＡＹＣＥＥのあるべき姿」というテーマにてご講演いただきました。挑戦する人材育成委員会委員長の加藤聖規君が昨年上田先輩のご講演を聴き衝撃を受け、ぜひとも多治見青年会議所で熱い思いを講演していただきメンバーで共有したい、その思いを基に開催されました。

ご講演前に、上田先輩のお話お聞きしておりましたがそれ以上に熱い方でございました。利他の精神の基、解散の危機にあった夕張青年会議所を再建し、また夕張市の再建にもご尽力されています。会員２名だった夕張青年会議所の会員拡大のため約３０００軒の家を１軒１軒回り１６名まで会員を増やされたお話には衝撃を受けました。まずはＪＡＹＣＥＥのとして行動を興せという言葉が多治見青年会議所の今季のスローガンに通ずるものがございました。自分がやらなければ誰がやる、上田先輩のお話から思いが溢れ出ていてとても感動しました。講演終了後の懇親会でも講演では話しきれなかったお話や質疑応答等で盛り上がりました。

今回の講演を通して会員としての自覚を再確認出来とても素晴らしい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

総務・渉外委員会　副委員長　天安寿徳君

第４６回ＪＣ青年の船「とうかい号」オリエンテーション



３月１９日（火）産業文化センターにて第４６回ＪＣ青年の船「とうかい号」オリエンテーションが開催されました。加藤聖規君を始めとする挑戦する人材育成委員会の設営の元、とうかい号の研修についてのわかりやすい説明や乗船経験者の体験談を交えながらの交流は、一般乗船者やメンバー乗船者にとっても有意義な時間だと感じました。またオリエンテーション後の懇親会中にも、一般乗船者から、「とうかい号についてわからない部分や不安がありましたが、今回のオリエンテーションで概要については理解できました」、「とうかい号に乗船して自分の殻を破ってきます」などの前向きな話も聞けたのでよかったと思いました。

私自身も、とうかい号の乗船が初めてとなるため、不安や戸惑いを感じておりましたが、今回のオリエンテーションを通して乗船経験者の話を聞き、とうかい号に対する自分の考え方や目標も変わりました。東海地区や岐阜ブロックの委員会に参加して行く中で改めて大きな事業だと感じました。

残り２か月あまりで出港となりますが、すべては、一般乗船者のために素晴らしい学びの場を設営していけるように頑張ってまいります。そして帰港後、とうかい号を通して感じ、学んだ事をＬＯＭに持ち帰り還元していきたいです。

「とうかい号」生活委員会　副委員長　丹羽亮介君

新入会員紹介

生き抜く力育成委員会
佐藤裕基（さとうひろき）君

勤　　務　　先：石政佐藤石材有限会社
特　　技：バスケットボール、どこでもすぐ寝られる
趣　　味：スポーツ、ゲーム、読書
休日の過ごし方：以前はクラブでバスケットボールをしていましたが、最近ではもっぱら子供と一緒に散歩したり、家族で買い物に出かけたりと子供中心の休日です。
メンバーへ一言：まず事業に参加することによって色々と学んでいきたいと思っております。考えるよりも先に体が動いてしまう性格なので、事業でも肉体労働担当で貢献したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

インフォメーション

４月１３日～１４日	生き抜く力育成事業Ｉ（陶器まつりへの参加）	於	陶都創造館
４月２７日	５月理事会議	於	産業文化センター
４月２９日	第４６回ＪＣ青年の船「とうかい号」結団式	於	名古屋市公会堂
４月２９日	虎渓山文化の森プロジェクト	於	多治見修道院・永保寺
５月　７日	５月例会	於	産業文化センター

ＪＣＩクリード

The Creed of Junior Chamber International
We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth' s great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life.

ＪＣ宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために 率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ JAYCEE は 社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

一般社団法人多治見青年会議所
［事務局］〒507-0831 岐阜県多治見市新町 1-23 多治見市産業文化センター 4F
TEL:0572-23-5229 FAX:0572-24-0227 E-mail:info@tajimijc.com